

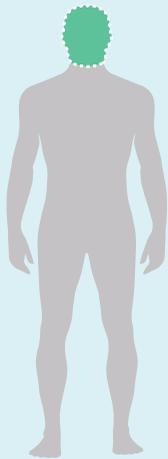
# 顔面の深達性部分層熱傷にRECELL®で治療を行い、術後1週で表皮再生が確認された

CASE STUDY / Joseph Molnar, MD, PhD, FACS / Wake Forest Baptist Medical Center, Winston-Salem, NC

## 患者の状態

顔面に深達性部分層熱傷を受傷した  
40歳男性

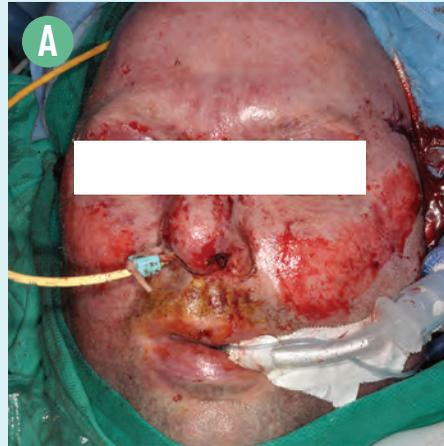
## RECELL治療部位



## 結語

本症例では、RECELLを使用した患者で深達性部分層熱傷の治療の成功が示された。RECELLを使用した事により、瘢痕と採皮面積をを最小限に抑えつつ早期の表皮再生及び完全上皮化が得られた

手術日



術後1か月



術後1週



術後5か月



## 治療部位

受傷から4日後、顔面部のデブリードマンを実施し、その後アログラフトを適用。受傷から24日が経過しても治癒が進行せず、母床を整え、RECELLでの治療を実施(図A)

## 臨床的アウトカム

Spray-On Skin™ Cells適用から1週間以内に顔面部と採皮部の95%以上が上皮化(図B)。この患者は喫煙者であったため、創傷治癒における危険因子があったが、治療に関連した有害事象はなかった。臨床的アウトカムでは瘢痕を最小限に抑えつつ十分かつ安定した色素再生が示された。

本紙に掲載している症例は、臨床成績の一部を紹介したものです。全ての症例で同様の効果を保証するものではありません。

